

オークの樹の下の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	オークの樹の下の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	オークの樹の下を読んだことのある10代～50代の男女10名
調査期間	2024年12月10日～2024年12月15日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/oku_nokinosita/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: オークの樹の下の面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代女性	4名 (40%)
30代女性	2名 (20%)
40代女性	2名 (20%)
30代男性	2名 (20%)

Q2: オークの樹の下の面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

吃音症のクロイソは、父親に病気のことをバカにされながら罵倒され、暴力まで振るわれてしまう所に胸が痛みました。な

りたくなつた訳では無いのに、恥じないようにひっそりと生きる姿を見て可哀想だと思つたし、父親に妹と比べられてしまう所が悲しかったです。リフタンは無愛想だけど不器用なだけで、きちんとクロイソを愛している知つて安心しました。

もう胸がドキドキ止まらないです。

マクシミリアンが吃音を抱えながらも懸命に生きようとする姿に、何度も涙がでました。

特にリフトンとの関係が進むたび、彼女の不安や勇気、そして少しずつ愛を知つていき心を開いていく過程が、もう切なくて愛おしくてたまらないのです。

彼女が勇気を出して言葉を紡ぐシーンは、息をするのを忘れて応援してました。

リフトンの過保護な優しさと、彼女への想いが伝わるたび、私の心までキューツと締め付けられます。

また、世界観も凄く美しく、まるで自分が中世の幻想的な世界に入り込んだみたいでした。

本当に素敵すぎて、一気に読んじゃいました。お気に入りですみんなに勧めています。

実家でいびられて追い出された女性が、その追い出された先で幸せになる。最近よくあるストーリーではありますが、人気の物語にはそれだけの人を惹きつける引力があるのだと実感する話でした。

ヒーロー役が変に拗れた性格でない良い人なので、ストレスなく読めました。こちらには主人公への優しさが伝わってくるのに、主人公はトラウマもあって妙に素直に受け取れないもどかしさが魅力です

小さい頃からお父さんからの虐待を受け続け、それが原因で極端に自己肯定感が低い性格になってしまったマクシミリアンが、愛妻家の夫リフトンの助けを得ながら少しずつ成長していくという内容のお話です。

単なる恋愛物語ではなく、家庭内虐待に対する問題提起、姉妹間の格差、人種差別など様々な現実の問題に対するメッセージ性を持った優れた作品でした。

一人でも多くの虐待経験のある女性に読んでほしい名作だと思います。

広告に引き寄せられて試し読みをしましたが、ずっと続きが気になりすぎて結局読み進めてしまった作品です。とにかく絵が美しい。ずっと見ていられるしっかりとした作画だと思います。その上、主人公とヒロインのもどかしい関係性が良すぎます。はじめは距離のあった二人が少しずつ歩み寄る様は見ていると心臓がぎゅーっとなります！とにかく応援したくなる二人です。その他の登場人物も個性があって深掘りを期待している作品です。

「オークの樹の下」は以前から広告で気になっていたタイトルで、たまたま11話くらいまで無料だった時に何気なく読んだのがきっかけでした。読み始めたらどんどん止まらなくなり、気付いたら一気に読んでいました。公爵令嬢でありながら実家から疎まれ、自分の容姿と吃音症にコンプレックスを持っている主人公が、下級騎士でありながら功績を上げたことにより地位を得た旦那様の元に嫁ぎます。嫁いだ最初の頃に色々あって、主人公は自分は旦那様に愛されておらず、これは仕方なく行われた婚姻だと悩むのですが、実は全然そんなことはなく、旦那様は主人公の存在を見付けては駆け寄りいくくらいのゾクゾクぶりでした。普段は冷徹な態度なのに、主人公の前だけでは甘々になる旦那様が最高で、それにだんだん心を開いていく主人公の姿も読んでいてキュンキュンしてしまいます。これからどうなっていくのか、ますます楽しみなストーリーです。

とにかくこの作品はネットでちょっと話題になっていたもので、それで興味を持って読み始めたのですが凄くストーリーがいいですね。紆余曲折を経てリフタンとマクシーが再び出会い愛情を確かめ合う姿にとっても胸がときめきました。ファンタジーの雰囲気強く感じられて、そこに存在するキャラたちの内面も丁寧に紡いでくれたのですごく面白かったですね。

リフトンのマクシーに対しての愛が本当に深いんですね。あんな格好いい人にここまで好かれるなんて本当にマクシーの立場に羨ましが強まりました。最初、この作品は恋愛要素が強いのかなと思つたのですがちゃんとファンタジーのワクワク展開も用意されているのでその辺のバランスがとってもいいですね。従ってリフトンの格好いい姿に胸がときめくこと間違いなしです。

結婚して、と思つたら翌朝にはもういなくなつていてそのまましばらく不在って。どんな結婚相手なのですか。まあ彼は彼で思いがあつて苦労していたようですが、というか、そのことを妻になった相手なんだからちゃんと言いましょ。とにかくもどかしい二人です。もっとちゃんと自分の想いを伝えれば幸せになれるのにとやきもき。

不器用な二人です。共に凝り固まった考え方があって、相手を素直に見ることができない。その思いがあるからこそ自分のこともちゃんと素直に出せずにいる。本当の意味で夫婦となるまでなかなか時間がかかちやいそうですね。でもだからこそ応援したくなつちやいます。少しずつ自信を取り戻していくヒロインのこともほほえましい。

